

(別紙様式 1)

教育研究連携ユニット設置申請書

関 連 部 局 名	文学研究科、経済学研究科、農学研究科
ユ ニ ッ ト 名	スーパーグローバルコース人文社会系ユニット
代 表 者 名 (氏名・所属・職)	久野秀二 経済学研究科 教授
ユ ニ ッ ト の 概 要 等 (設置期間内に達成しようとする目標も含む)	スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」の全学的な実施運営に当たっては、本センターに置かれたスーパーグローバルコース実施準備ユニットが取り纏めを行ってきた。 スーパーグローバルコースの実施をさらに促進するため、全学的な活動として可視化し、強力に展開することが必要不可欠であることから、実施準備ユニット(会議)を発展的に継承し、全学的な運営調整とドライブ機能を担う「スーパーグローバルコース実施運営協議会」を平成27年12月に設置した。 また、京都大学学際融合教育研究推進センタースーパーグローバルコース実施準備ユニット内規第3条に「スーパーグローバルコースの実施を統括する新たな組織を設置のうえは、速やかにその機能を移行するものとする。」としていることもあり、現在、ユニットの下に学術分野単位で置いている4つのサブユニットをユニットに昇格させ、ユニットごとの自立性を確保しつつ、上記の実施運営協議会及びその下部組織である実務担当者連絡会を通じて、学内での連携・協力関係を図り、海外大学との連携・協力関係の強化を図ることとしたい。 今回、申請する人文社会系ユニットは、分野横断的な国際連携大学院プログラムを構築し、東・東南アジア地域と欧米地域の学生・若手研究者が相互に交流するハブ拠点となっており、アジア地域に立脚しながらも、グローバルな視野で世界の持続的発展に貢献しうる人材の育成を目指す。
ユ ニ ッ ト 構 成 員 (氏名・所属・職)	別紙のとおり

別紙

設 置 期 間	平成２８年４月１日から平成３６年３月３１日まで
期 待 さ れ る 成 果	人文社会系の各分野トップレベルの研究者による大学院のスーパーグローバルコースを通じて国際水準の教育研究を推進するとともに、国際共同学位プログラムの実施に不可欠な国際共同教育プログラムの制度設計を促進する。
設置期間終了後の構想	国際共同教育プログラム等を実施するとともに、設置期間終了後は、本プログラム等を実施する既存研究科において、円滑に実施できる体制を構築する。
必要経費とその財源	国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学等事業） 国立大学運営費交付金（特別経費（機能強化分））
担 当 事 務 組 織	経済学研究科
そ の 他 留 意 事 項	